

## 世田谷村日記

石山修武

五月十四日

朝、地下で数人のスタッフとコーヒーを飲んで雑談。こんなささいな事も久し振りのような気がする。ゆったりした時間だった。たったの二〇分の事だったけれど。九州より権藤君上京。メシを喰う。六月に九州で再会を約す。

五月十五日

「室内」目ざわりデザインはスリッパとする。あと三時間で書くためには一時間内にスリッパに関する情報、データを集めなくてはならない。いつもすべり込みだよこの連載は。考えてみれば、他の事も全部すべり込みだな私奴めは。十六時杉並渡辺邸現場。仲々良く出来てた。世田谷村をちよつとカジュアルに仕立てた感じが出てる。自画自賛にたえるねコレだったら。十七時二〇分世田谷に帰り室内原稿書き始める。二二時長井にFAX。面白いだろつと自慢の電話も入れた。

深夜、久し振りにニーチェ読む。

五月十六日

午前中昭和医大の歯医者へ。こりや大変ですよとおどかさされる。歯ぐらいどうなつてもいいのであるとも思うが、歯一つで人生悲観的にもなつてしまふからやっぱり直そうとしばらく通院することになる。十八時明治通りコンバージョン、明和会の方々が十数

名集まつて会合。具体化への第一歩になつてくれれば良いのだが、皆さんスーパリアリリストだから簡単には動かないだろう。二〇時まで。

ゲーテのイタリア紀行読み始める。ワイマール体験がようやく役に立つ読書になりそうだ。

五月十七日

朝大学院レクチャー。ヨーロッパの辺境とアルバ・アールト。石山研究室の仕事、時に日常生活用品関係のモノの理論的根拠につながる考えも述べた。